

令和4年度 横浜市立箕輪小学校 環境授業 実施報告

1 環境教育の概要

- 横浜市都市整備局では、マイカーの過度な利用を控え、公共交通などを適切に利用する生活への転換を促す「モビリティマネジメント」の一環として、様々な移動手段を目的や状況に応じてかしく使い分ける視点を学ぶ「環境授業」を実施しています。
- 箕輪小学校では、総合学習の時間にSDGsについて学び、考える授業を行っています。今回の出前授業では、横浜市の都市交通の観点から、主に「11.住み続けられるまちづくりを」と「13.気候変動に具体的な対策を」に関わる問題について学びました。

■環境教育について

【日時】 令和5年1月12日(木)
3校時 10:40~11:25

【対象】 箕輪小学校 6年2組 (31名)
【目的】 都市交通の観点からSDGsを学ぶ
【内容】 ①座学
「人にも地球にも優しい「かしい移動」を考える」
②ワーキング

■授業の様子



2 授業の内容

- 地球温暖化の要因とされるCO2が日頃どのような場面で排出されるか、そして、マイカーの過度な利用が環境問題に繋がってしまうことについて学びました。
- また、公共交通の中でも身近な移動を担うバスの利用者が減少している現状を学び、このままではどうなってしまうか、どのようにすれば「持続可能な交通」を目指せるか、考えてもらいました。

■座学に用いたパワーポイント(一部)

聞いたことあるかな？



おわりに

- 横浜市における公共交通の現状について、クイズを交えながら授業をしましたが、バスの利用者が減少していることを初めて知った児童も多かったようです。
- クルマは便利ですが、過度に頼ることなく、目的地や荷物など、状況に応じた移動手段で出かけることを日頃から心掛け、ご家族やお友達などと少しずつ実践してほしいと思います。